

『農業に特化』した生産者にお得な情報をお届けします!!

第一号

No.1

2015年
2月発行



昭和肥料ニュース

収量減

等級
ダウン

くず米
多発

では元も子も
なし!!

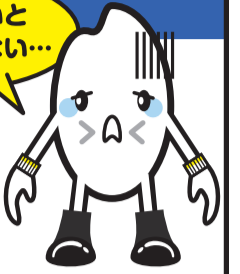
「資材費は減らしたけど…」

『天候に勝る
努力』が
克服のカギ!!

高品質を保つ生産者は知っている!

2014年の天候は全国各地で低温・日照不足となり、米の収量や品質に影響を与えております。今年の主な要因は“登熟不良”によるもので、未熟米やくず米が一部の生産者を除き多発している状況でした。同じ悩みで苦労された方も多いのではないのでしょうか?

栄養がないと
元気になれない…



では、毎年、高温障害や低温・日照不足に影響なく収量や品質を確保している生産農家様はどうだったのでしょうか?



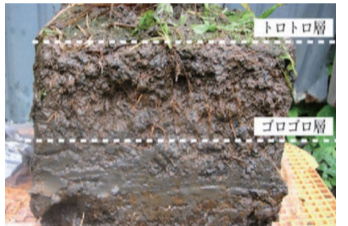
土作りを意識し、元肥では吸収性あるケイ酸資材施用と登熟以降による後期栄養不足を考えたケイ酸資材の追肥の策を考えた一年だった。

全国各地から聞こえてきた返答はこのような意見が圧倒的多数を占めていました。

水稻は収量・品質は『地力』に依存する割合が60%前後と他の作物と比べても高く、土壌根圏へのミネラルが絶対必要条件とします。

この、水稻に欠かせない『地力』とは…

吸収性高いケイ酸資材で
下層までがっちり
根がついた状態



肥料養分を蓄える力 + 肥料養分を徐々に供給する力 のことを言います。

近年、米の販売価格の低迷により、厳しい逆風に負けない環境が今年も求められます。「今年はコスト削減の為、ケイ酸資材を使わない!」と言った考えは更に土壌に悪影響な結果を生じます。従って、土台となる根圏はいかなる状況においても充実したものにしなさいといけません。

今年こそミネラルタップリのお米を消費者の皆様にご食べていただき、“儲かるコメづくり”に挑戦しましょう!

くず米生産しても商品価値なし…

近年、くず米は各エリアで収穫が増えており反収悪化がでております。ちなみに昨年は反収平均30キロ〜多いところでは50キロ以上と報告されております。又、キロ価格も13〜20円安価取引…生産すれば現実的な“くず米ショック”となるでしょう。



仮に反 30kg 出すと 1町歩300kg = 15円換算で4500円
それがもし、1町歩300kgが1等米であれば5俵 = 〇万円へアップ!
10町歩3000kgが一等米であれば50俵 = 〇〇万円へアップ!!
まさに十分な経費や肥料代が見込めるでしょう。

プロ農家は常に
向上心あるのみです!!



今後の市場で消費者が求めるお米とは!

- ①色艶があり、ご飯粒はふっくらしている(冷めても美味しい)
- ②ご飯粒の表面がしっかりしている
- ③ご飯特有の香があり、噛むと「じゅっ」と広がる淡い甘さがある
- ④粘りがあり、ご飯粒同士が付着している
- ⑤パサついたり、硬かったりせず食べてもカスがない

そして、お米価格が高くても美味ければ何度でも食べたい! そんなお米を待っているのです!

お勧め商品ラインナップ



米助



ひかりゴールドF

米・食味分析鑑定コンクールで、
入賞を果たした経歴をもつ
お米農家推奨土壌改良材

土壌に必要な腐植も
たっぷり含んでいます!

根をしっかりと長く太く、強く育てます。
茎のしなりや太さの違いも一目瞭然!!



根も茎も強さは
チャンピオン級!!

他にない! こだわり肥料の崩壊性について

一般的な肥料だと…



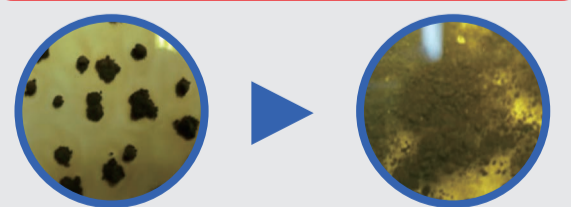
その年に一割しか溶けない一般ケイカル。これでは窒素の10倍ケイサンを必要とする稲は成長不良に陥ってしまいます!

弊社の肥料なら問題無し!!

播きムラなく機械散布に適した粒状に加工



散布し、土壌水にふれるとスムーズに崩壊!



肥料が土壌水にふれることによって、スムーズに崩壊し溶けていくことはとても重要です。昭和肥料では製造工程を工夫し、微粉碎原料から2~4mmの粒状に加工することで播きムラなく機械散布に適した製品を製造しております。